

大項目	評価項目	評価基準	配点
実施方針等 (15)	①業務理解度	本業務の目的、支援対象者の多様な生活課題及び基本方針を十分に理解し、仕様書の要求事項を踏まえた適切な実施方針が示されているか。	5
	②対象者分析の適切性	生活困窮世帯等の中高生の学習環境、生活課題及び心理・社会的ニーズについての的確な分析がなされており、それらを踏まえた支援の方向性が具体的に示されているか。	5
	③支援体制構築の具体性	参加登録者の支援プロセス（申込→初回面談→支援計画→支援→フォロー→評価）が、参加が困難な対象者への対応や継続参加に向けた支援を含め、具体的かつ体系的に整理された提案となっているか。	5
提案内容 (60)	④学習支援の方法	対象者の多様な学力レベルや学習ニーズを踏まえた学習支援、教材準備、学習意欲向上の具体的かつ効果的な取組が提案されているか。	8
	⑤進学支援の具体性	高校受験対策講座の実施内容及び進学相談について、具体的かつ効果的な支援内容が示されているか。	8
	⑥高校生の中退防止支援	高校生の悩みや課題の把握方法、相談対応及び関係機関との連携等について、高校生の中退防止に資する具体的かつ効果的な支援方法が提案されているか。	5
	⑦居場所の支援	参加者が安心・安全に過ごせる第三の居場所づくりについて、学習目的と居場所目的の双方の参加者に考慮した運営方法や雰囲気づくりの工夫が具体的に提案されているか。	5
	⑧社会性育成の方法	社会体験活動等を通じた社会性の育成について、対象者の多様なニーズを踏まえた具体的かつ効果的な取組が提案されているか。	5
	⑨食の支援の工夫	参加者の経済的状況や心理・社会的ニーズを踏まえた、創意工夫ある具体的な支援方法が提案されているか。	3
	⑩学習会の運営方法	利便性、プライバシー配慮を踏まえた会場の設置方針、会場数、開催時間、開催回数、参加定員等について具体的かつ合理的な提案となっているか。	8
	⑪安全管理体制	業務従事者の採用、研修、こども性暴力防止法（日本版DBS）への対応、緊急時対応及び個人情報保護等について、適切な安全管理体制が具体的に示されているか。	5
	⑫効果測定と改善体制	成果指標の達成状況及びアンケート結果を踏まえた事業改善の取組について、具体的かつ実効性のある方法が示されているか。	5
	⑬人材確保・人材育成	必要人材の確保方策及び人材育成の手法について、事業の目的の達成に資する具体的かつ効果的な取組が提案されているか。	8
担当者評価 (10)	⑭相談支援員の専門性	相談支援員が、子どもの健全育成又は生活困窮世帯への支援等本事業に関連する分野での相談支援業務の実務経験を有しているか。	5
	⑮学習支援講師の専門性	学習支援講師が、学習支援又は教育活動に関する指導経験及び困難を抱える子どもへの支援経験を有しているか。	5
組織評価 (10)	⑯組織体制及び事業遂行能力	業務に応じた適切な人員配置、指揮系統及び情報共有体制が明確に示されており、安定的かつ柔軟に事業を実施できる体制となっているか。	5
	⑰類似事業の実績	同種又は類似業務の実績及び履行状況が示されており、本業務を適切に実施できる経験を有しているか。	5

参考見積 (5)	⑱経費の妥当性	人件費、運営経費等の内訳が明確であり、事業の内容に見合った適切かつ合理的な経費配分となっているか。	5
合計			100

**【審査の方法】**

特定審査委員会において提出書類の審査・採点を行い、最高得点の提案者を受託候補者として特定する。ただし、事業の目的・内容に鑑み、最高得点が最低基準点（委員1人当たりの平均得点60点に達しない場合は、この限りではない。

**【採点結果が同点であった場合の取扱い】**

最も優れた提案の評価が同点になったときは、評価基準表の評価項目「提案内容」の得点が最も高い提案者を受託候補者として特定し、同点の提案者が複数ある場合は、見積価格が最も低い提案者を受託候補者として特定する。見積価格が同額となった場合は、別途日程を定め、くじ引きにより受託候補者を特定する。